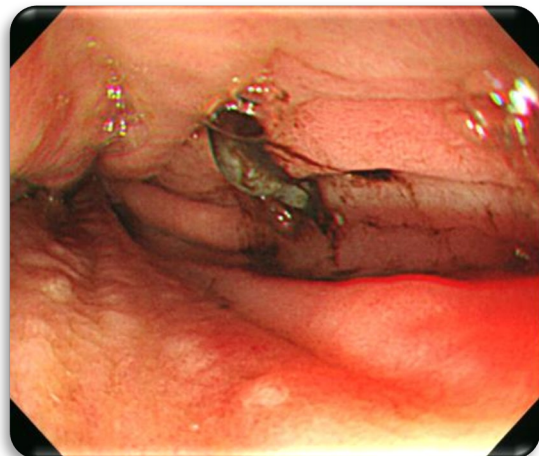
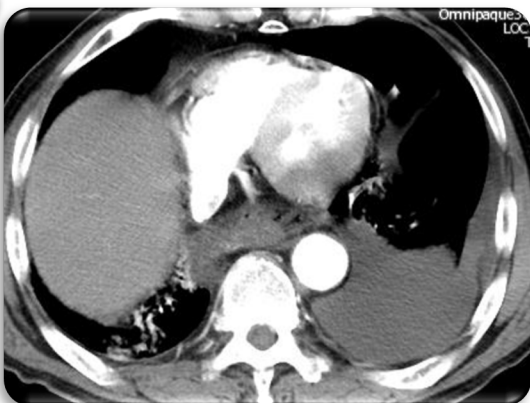


食道が破裂するとどうなる??



食道破裂（しよくどうはれつ）とは、食べ物の通り道である食道の壁が突然裂けてしまう、**非常に危険で緊急性の高い病気**です。発症すると胸やお腹の中に食べ物や胃の内容物が漏れ出し、重い感染症（縦隔炎など）を引き起こすことがあります。命に関わることもあるため、早急な治療が必要です。

多くの場合、激しい嘔吐の直後に起こります。これをブルハーヴェ症候群と呼びます。大量の飲酒後の嘔吐などがきっかけになることが多いですが、強い咳やいきみ、外傷、内視鏡検査の際などに起こることもあります。

主な症状は、突然起こる激しい胸の痛みです。多くの人「今までに経験したことのない強い痛み」と表現します。痛みは背中や肩に広がることもあります。また、嘔吐の後に痛みが出るのが特徴的です。そのほか、息苦しさ、発熱、冷や汗、動悸などがみられることもあります。進行すると、体内に感染が広がり、ショック状態になることもあります。

診断には、まず症状や経過が重要な手がかりになります。そのうえで、CT検査が非常に有用で、食道の周囲に空気や液体が漏れている様子を確認します。また、造影剤を飲んで食道からの漏れを調べる検査（造影検査）を行うこともあります。

治療は緊急対応が必要です。多くの場合、手術によって破れた部分を修復し、胸の中に漏れた内容物を洗浄・排出します。同時に、強力な抗生物質を使って感染を抑えます。比較的早期で破裂が小さい場合には、絶食と点滴、抗生物質などによる保存的治療で改善することもあります。慎重な判断が必要です。最近では、内視鏡を使ってクリップやステントで穴を閉じる治療が行われることもあります。

食道破裂は発症から治療までの時間がとても重要で、**早く治療を開始するほど予後が良い**とされています。診断や治療が遅れると重篤な感染症を引き起こし、命に関わるリスクが高まります。まとめると、食道破裂は嘔吐などをきっかけに食道が裂ける緊急疾患で、激しい胸の痛みが特徴です。疑わしい症状があれば様子を見ずに、すぐに救急受診することが非常に重要です。